

日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科

NEWS LETTER

vol. 01

2018.2.28



いつもご紹介ありがとうございます

2017年4月に新体制となってから早くも1年が過ぎようとしております。

いつもご紹介いただいている近隣の先生方のご協力により、この一年、充実した診療体制を維持することができました、大変有難うございます。

今後数年で、病院地域の再開発による武蔵小杉病院建て替えなどが計画されており、益々地域の皆様に貢献できる診療科として努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



慢性潰瘍の新規治療

3月から、周期的自動注入機能付き陰圧治療システム『V.A.C.Ult』

を導入いたします。

このシステムは、従来陰圧治療では奏功しない、或いは局所感染及び汚染の疑いのある難治性創傷の治療を適応としています。



乳房専門女性医師就任

4月から、乳房再建を専門とする金子繭子医師が復帰いたします。引き続き乳腺外科との協力体制で、確実な乳房再建を継続してまいります。

血管腫治療を開始します

6月から、かねてより地域で要望の強かった血管腫に対しての治療を開始することとなりました。

皮膚良性血管病変治療用レーザー装置Vbeam IIIは、**単純性血管腫、乳児血管腫、毛細血管拡張症**の治療目的で設計されたロングパルスダイレーザーです。

当院では、外来局所麻酔照射や、範囲の広い方は一泊入院全身麻酔照射を行います。



新任医師紹介
桑原大彰

【経歴】

2007年

東邦大学医学部医学科卒業

2009年

日本医科大学形成外科入局

2014年

会津中央病院形成外科部長

2016年

Helsinki University Hospital,
Finland

2017年

Chung Gung Memorial Hospital,
Taiwan

桑原医師からのお知らせ

皮膚腫瘍・軟部腫瘍外来を強化します

私は、フィンランドのヘルシンキ大学病院と台湾のチャンガン病院で、皮膚軟部腫瘍とその再建について2年間修業を行ってまいりました。

主には、軟部腫瘍とその組織再建についての臨床留学でしたが、この技術や経験で地域の皆様に貢献できるようにこれから頑張りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

